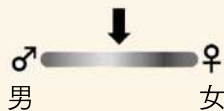


「性を構成する4つの要素」

※性的指向、性自認、性表現は「男」か「女」かの両端に分けられるものではなく、その間のどの辺に位置するか人それぞれ異なります。



どの性を好きになるか、自分の性をどう認識しているかなど、性のあり方は人それぞれであり、一人一人の尊厳に関わる大切なこととです。

いろいろな「好き」のかたち 「こころ」のかたち

性のあり方について

私たち一人一人の性のあり方は、図のような4つの要素のかけ合わせによって形づくられます。

全ての人の性のあり方を、性的指向、性自認、性表現のそれぞれの頭文字を取って「SOGI(ソジ)」や「SOGIE(ソジー)」と表現したりします。

恋愛の対象が異性で、体の性と心の性が一致する人が多数派とされる一方で、これに当てはまらない人は「性的少数者」と呼ばれることがあり、その総称の1つとして「LGBT(エルジービーティール)」などの言葉が使われることもあります。

人の数だけ多様な性

私たち一人一人の顔や性格が違いうように、性のあり方も多種多様であり、個人の尊厳に関わる尊重されるべき重要なものです。しかし、性のあり方に関する誤解や理解不足が、性的少数者へのさまざまな偏見や差別を生んでおり、そのために生きづらさを

抱かせてしまっている現状があります。

誰もが「自分らしく」生きられる社会を実現するために、私たち一人一人が、性のあり方に関する正しい知識と認識を深め、自分のこととして考えていくことが大切です。

今口からできること

誰もが自分の性を尊重される社会にするために、まずは多様な性の存在を前提として行動することから始めてみましょう。

- ・他者の性のあり方を決めつけたり、押しつけたたりしない。
- ・性のあり方を差別、嘲笑するようなことをしない。周囲の差別的言動にも同調せず、客観的に正していく。
- ・本人の許可なしに性のあり方を第三者に暴露したり、噂したりしない。

こうした、多様な性のあり方を理解・支援しようとする気持ちを、LGBTの尊厳を象徴するレインボーグッズを身に着けることで表現することができます。一人一人のこうした行動が周囲の理解を促し、社会全体の意識を変える力になり、誰もが生きやすいと思える社会へとつながっていくのではないのでしょうか。

福岡県パートナーシップ宣誓制度がスタート

福岡県では、令和4年4月1日から「福岡県パートナーシップ宣誓制度」が開始されました。法律上の婚姻とは異なりますが、これにより、八女市民も福岡県の宣誓制度を利用し、福岡県と八女市の対象の行政サービス等を利用することができそうです。

※詳細は県のホームページを参照ください。



第4回人権セミナー「八女2022開催」

- 演題Ⅱ「取材を通して見た人権」
 - 講師Ⅱ河野潤一郎さん(西日本新聞記者)
 - 日時Ⅱ11月17日(木)19時～20時30分
 - 会場Ⅱ立花市民センター
 - 参加料Ⅱ無料
 - 申し込みⅡ不要
- ※詳細はチラシ、ポスター、市ホームページを参照ください。

